

2月手賀沼探鳥会報告

日時 2018年2月11日(日) 9:00~12:15 晴れ後曇り・無風 気温9~12℃

今回の定例探鳥会は、1月30日の朝日新聞夕刊イベント紹介欄に掲載されたこともあり、首都圏の各方面から27名の方々の一般参加をお迎えし、会員37名を加え、総勢64名の大会となりました。朝の8時半頃には早々と遠来からの参加者が集まり始め、9時には市役所玄関前が一杯になりました。前日の下見では、水鳥をはじめ鳥全般が少なく、新聞掲載記事では多ければ50種の観察ができるとの記載があり、誇大広告との誹りを懸念する中でのスタートでした。

鳥が少ない中でも出だしから水側にはコガモにバン、木立にはコゲラやホオジロ、葭原にはオオジュリンが現れ、常連のハヤブサも何時もの鉄塔から飛び出し再び鉄塔に戻って鎮座してくれました。ヒドリ橋ではクイナやチュウヒが出現し、それなりのショーとなりました。道の駅での休憩を挟み、ハス群生地ではいつものコブハクチョウ、マガモ、オナガガモ、ホシハジロが居てくれて一安心し、そんな中、ハイイロチュウヒ♀が水面から水の館周辺を飛んでくれました。

最後のお立ち台(片山の緑道)では無風で鏡のような水面には何も見えず、対岸の水際にヒドリガモがいるくらいでしたが、農耕地を見ると電柱にノスリがいて、最後を締めくくってくれました。

大人数で、ふれあい緑道は自転車も多い中での探鳥会でしたが、参加者の皆さんのご協力の下、事故なく無事終了しました。認めた鳥は目標の50種には届きませんでした。一般参加の皆さんには、何とか手賀沼の野鳥を楽しんでいただけたのではと思います。参加の会員各位には案内から交通整理など、いろいろと協力いただき、担当幹事としてお礼申し上げます。

<認めた鳥>

コブハクチョウ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、オナガガモ、コガモ、ホシハジロ、ミコアイサ、カイツブリ、カンムリカイツブリ、ハジロカイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、クイナ、バン、オオバン、ユリカモメ、セグロカモメ、トビ、チュウヒ、ハイイロチュウヒ、ノスリ、カワセミ、コゲラ、チョウゲンボウ、ハヤブサ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒバリ、ヒヨドリ、ムクドリ、シロハラ、ツグミ、スズメ、ハクセキレイ、カワラヒワ、ホオジロ、アオジ、オオジュリン 計45種 番外:カワラバト

<参加者> 64名

(報告) 桑森亮